



保護者ニーズ調査 親たちは学校に何を求めている！？

「つめ込み教育」の反省から、1996年の中央教育審議会の答申を受け、「ゆとり教育」という従来とは正反対の方向に進みつつある教育改革。昨年からは施行された新学習指導要領では、学習内容が3割削減され、保護者の間に学力低下の不安が広がった。知識の詰め込みよりも体験を重視して、生きる力をつけようと導入された総合学習では、何を教えていいかわからないと学校現場の混乱を招き、保護者からは「そんなことよりも基礎学力をきっちり身につけて欲しい」との批判を浴びる結果となってしまった。公立校では学力は身につかない、と塾や私立中学受験を目指す保護者は増える一方。しかし、多くの保護者は、まだ公立校に期待しているし、公立校で子ども達を教育したいのである。

保護者たちが学校や教師に、本当に望んでいるのは何なのか、未就学児童～小学生の子どもを持つ母親200人にその胸のうちの聞いてみた。

<回答者の基本情報>

居住地

	合計	北海道	東北	関東	信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
全体	200	4	6	111	1	1	20	36	10	3	8
	100%	2%	3%	56%	1%	1%	10%	18%	5%	2%	4%

年齢層

	合計	20代	30代	40代
全体	200	5	149	46
	100%	3%	75%	23%

男女比

	合計	女性	男性
全体	200	200	0
	100%	100%	0%

子どもの年齢

	合計	未就学児	小学校1~3年	小学校4~6年
全体	200	5	149	46
	100%	3%	75%	23%

子どもの所属

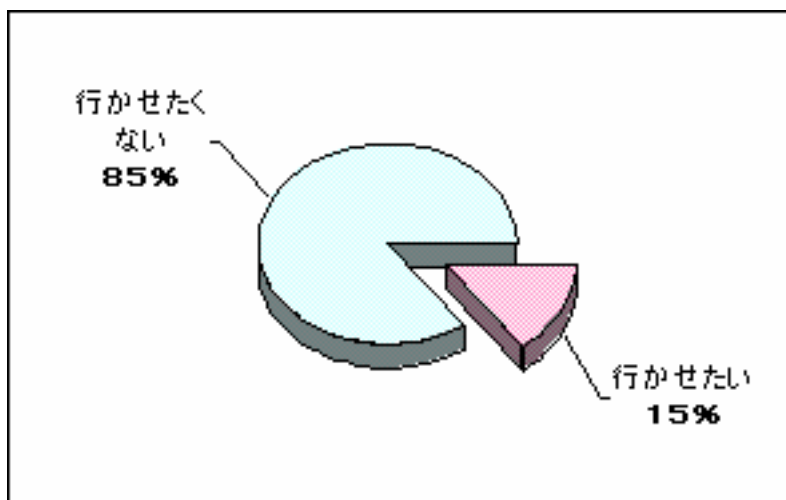
	合計	私立幼稚園	国公立幼稚園	保育園	国公立校	私立校
全体	200	65	10	20	155	0
	100%	33%	5%	10%	78%	0%

<質問項目>

- Q1 あなたの理想とする小学校はどのようなものですか。
- Q2 あなたの理想とする教師像はどのようなものですか。
- Q3 あなたの理想とする校長(学校の責任者)像はどのようなものですか。
- Q4 学校の放課後や土曜日に、授業以外のサービスを求めるとしたらそれはどのようなものですか。
- Q5 私立校へ行かせたいと思いますか。
- Q5-1 私立校に行かせたい理由は何ですか。
- Q5-2 私立校に行かせたくない理由は何ですか。
- Q6 子どもたちの安全のために、学校にはどこまで対応して欲しいですか。
- Q7 学校の環境をよくするために何か協力するとしたら、どのくらい参加できますか。
- Q8 設備、教員、教育方針など、学校に関することで、「これはひどい」と思ったできごとをお書き下さい。
- Q9 その他、学校や教師に求めることをお書きください。



Q5 私立校へ行かせたいと思いますか。

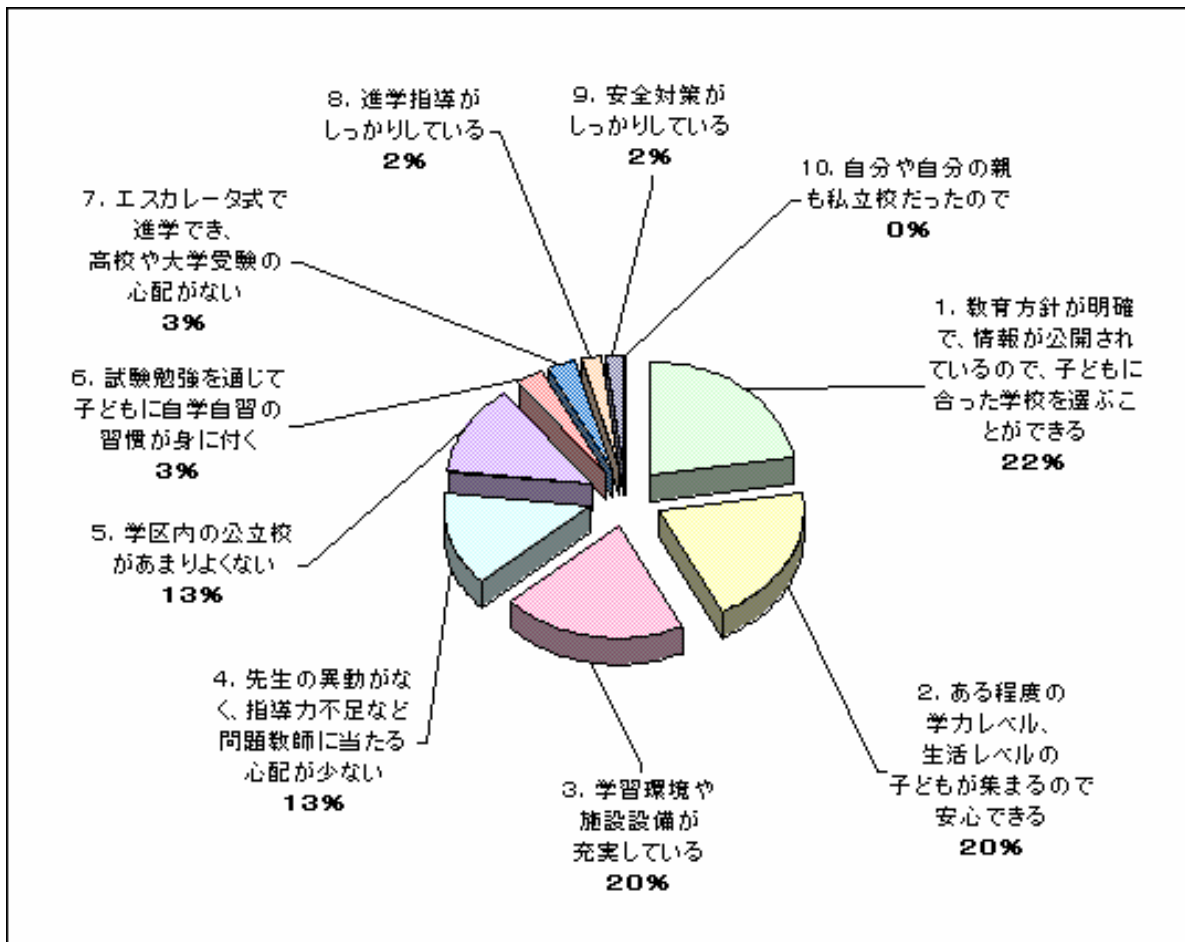


	合計	行かせたい	行かせたくない
全体	200	30	170
	100%	15%	85%

ここ数年、私立校への受験熱は高まるばかりである。しかし 実際には、「私立校に行かせたい」と答えた保護者は全体の15% (30名)にとどまった。



Q5-1 私立校に行かせたい理由は何ですか。

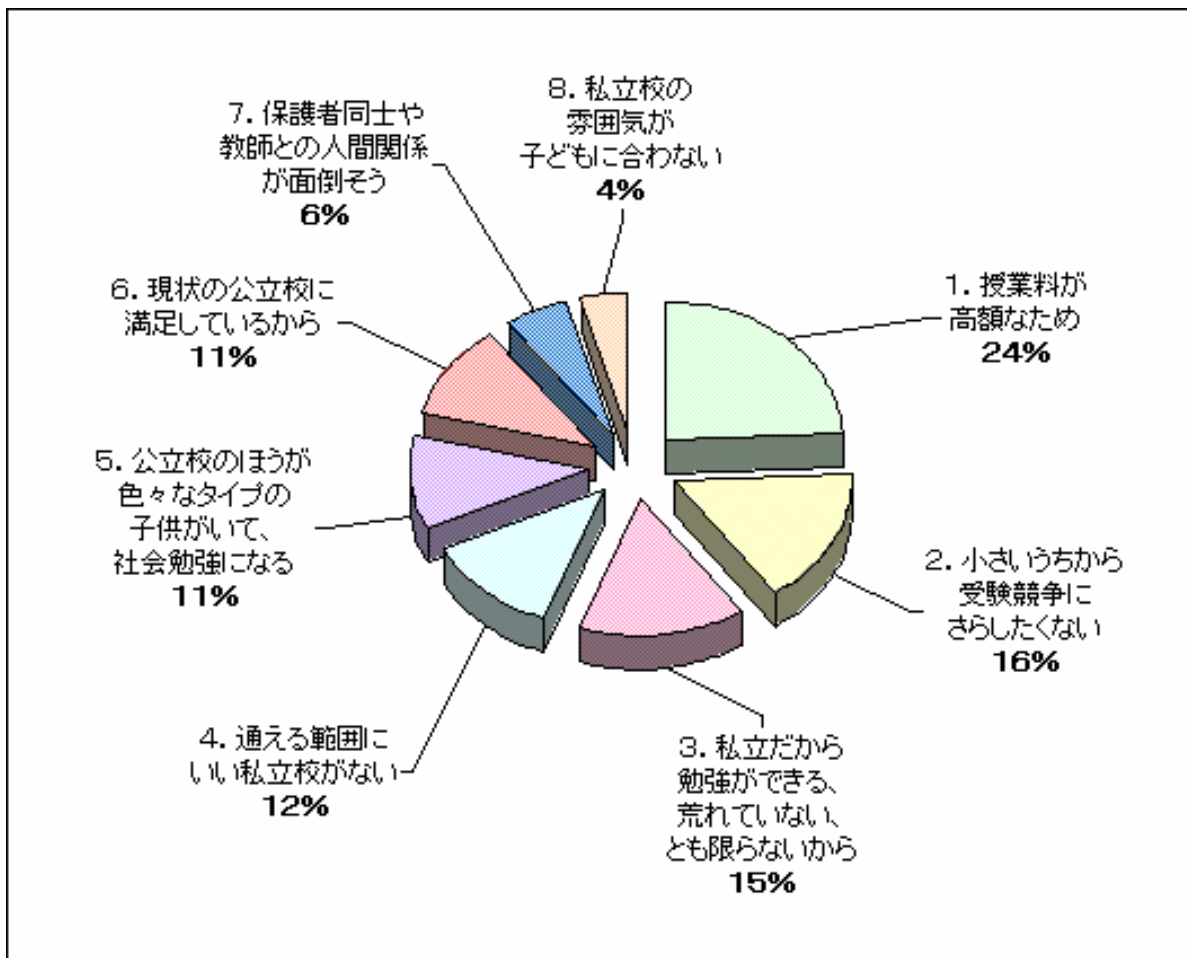


	合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全体	90	20	18	18	12	12	3	3	2	2	0
	100%	22%	20%	20%	13%	13%	3%	3%	2%	2%	0%

私立校に行かせたい理由を聞いたところ、教育方針が明確で、情報公開がされているので、子どもに合った学校を選ぶことができる」22% (20名)、ある程度の学力レベル、生活レベルの子どもが集まるので安心できる」20% (18名)、学習環境や施設設備が充実している」20% (18名)がほぼ同率で上位を占めた。



Q5-2 私立校に行かせたくない理由は何ですか。



	合計	1	2	3	4	5	6	7	8
全体	510	122	84	79	62	58	55	32	18
	100%	24%	16%	15%	12%	11%	11%	6%	4%

私立に行かせたくない理由を聞いたところ、1位は「授業料が高額なため」、以下「小さいうちから受験競争にさらしたくない」16% (84名)、私立だから勉強ができる、荒れていない、とも限らないから」15% (79名)と続く。



自由記入によると、「私立に行かせたい」と答えつつも、授業料が高い、遠い、という困難が待ち構えていることがわかる。また、逆に、「行かせたくない」と答えた人でも「お金があれば行かせたい」とらの本音なのである。このような、保護者の矛盾した苦悩の根源は、公立で本来身につけられるはずの学力が身につくそうにない、という不安によるところが大きい。多くの保護者は「いじめがなく、勉強をしっかり教えてくれるなら、お金や通学の負担を考えても、友達関係を考えても、公立のほうがいい」と考えているのである。

私立に行かせたい人のコメント

「行かせたいが、行かせるお金がない。世の中まだまだいい教育をうけさせようと思ったら、お金持ちじゃないと無理だということが、ひしひしと感じる。お金がなかったら、あきらめて公立に行くしかない」

「近所に私立校はなく、通学が遠くなり大変。しかも授業料が高額。公立校は学区があるため選べない。とても不自由な環境なので、日本の子どもの水準は落ちる一方だと思う」

「理想は、公立で力をつけて欲しいが、学区内の公立のレベルが低すぎる。現在、私立幼稚園に通っていますが、公立に比べてカリキュラムが充実していると思う子どもも楽しそうなので、小学校も私立のほうがいいのかなと考えます。」

「今の学習指導要領では物足りない」

「地方の公立学校の授業ではとても不安でしかたありません。子ども達もやる気が全くなくて親の意識も低いのが現状。やはり子どもの学習教育に関して言えば地方の怠慢な教師の多い公立学校では利点は全くないうちに思う」

「積極的に行かせたいわけではないが公立だと両親の子どもに対する意識や生活習慣、教育に対する考えなど格差がありすぎて何が常識なのか分からなくなる時がありトラブルが起こると疲れる。」

「現在、公立小学校に子どもを通わせているが、小学校を保育園と勘違いしている保護者も多く（しつけは親ではなく学校がするものと思っている）、そのせいか、友達を手下と勘違いしている子、高学年になっても授業中席につけない子、気に入らない事があると関係無い友達でも殴る子など問題のある子がポツポツ見られ、授業に集中できる環境になっていない。」

「やはり公立と私立では良い教師のいる確率は断然違うと思います。現在の公立の教師は所謂オバちゃん教師が多く、晩御飯の心配が先！という印象があつてなりません。」

「基本的には、公立学校で地域の中でいろんな子どもがいる環境の方がいいとは考えていますが、一方で、公立でのいじめや非行の問題、ゆとり教育に対する不満があるので、安心して通える学校を自分で選びたいと思います。私立に通わせたいというよりは、国立学校、あるいは公立でも学校を選択できるのならいいと思います。あくまでも受験のための学校には入れたくないです。」



私立校に行かせたくない人のコメント

「行けるものであれば行かせたい。距離が遠いのと、お金の負担が重すぎる。」

「近所で私立校に通わせている人は、払っている高額な授業料を自分なりに納得したいのか、やたらに自分の学校自慢をして、それ以外はダメという言い方をしたが、そういう狭い見の世界に入れたくない。」

「小学校で私立学校とらと、とかく“お受験”のイメージが強く、受験校しかないような気がする。个性的で、受験に関係なく、個性を伸ばしてくれるような学校があれば、私立校も考えるかもしれない。ただ、授業料がとてつもなく高いので、家計の負担を考えると、我が家ではそれだけのゆとりが無い。」

「地方なのでまったく私立がありません。もしあっても、授業料が高額では通わせてあげられません。」

「私学では少ない人数で長期間同じ環境と言うのは合えばよいが合わないとなつらいかも？ 自分は中高私学の女子高だったので通わせたいとも思ったが、高額だし通学時間も長いので今は子どもを公立に通わせている。公立校でのお勉強はなかなか大変で、女の子なので女子高でもいいかなとも思う。」

「とくに問題のない学校であれば、わざわざ遠くまで通う必要はないと思います。通学途中で大きな口をあけて寝ている小学生をたくさん見ている。寝不足解消でしょうか。家の近所の子と遊ぶ、ということはほとんどないようですし..」

「私立に通うより、公立のほうが近所の友達がたくさん出来て、学校が終わってから一緒に遊べると思う。もちろん、授業料が高いので、私立は考えていないという面もある。」

「私立に頼るのではなく公立も努力をすべき！わが子にそんな学力があるとも思っていませんが、わざわざ高いお金をかけて、子どもの小さい頃にしか経験できない遊びの時間を削ってまで行かせる意義が分からないのが正直なところです。教育者の熱意があれば公立でも十分な勉強が出来るはずです。(親の理解と協力も必要だと思っています。)」

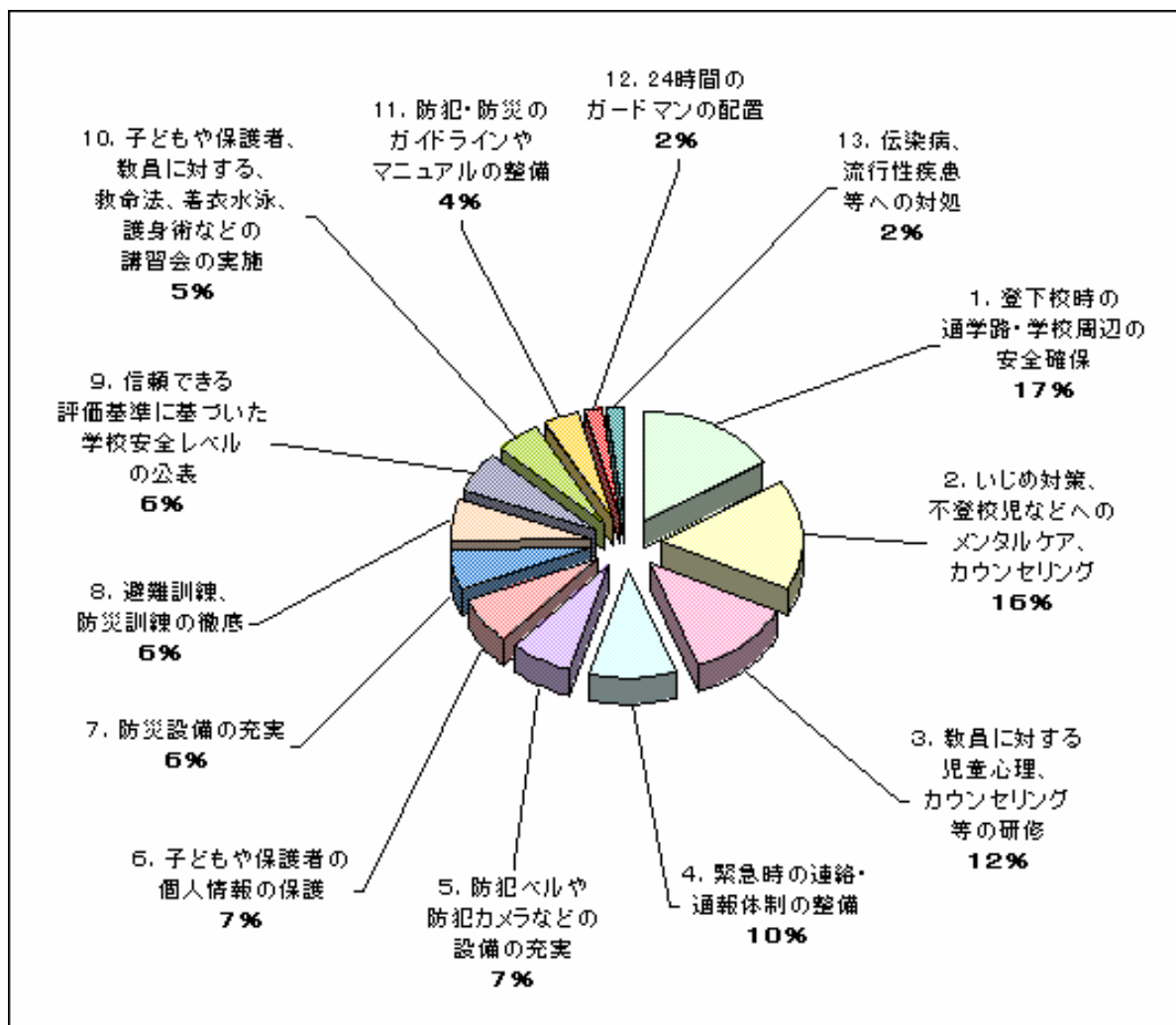
「“私立がいい”のではなく、公立ももっと充実させて欲しい。公立だから荒れているというのはおかしい。北海道は公立高校の方がレベルが上でした。お金をかければそれなりのことをするのは当たり前で、お金をかけなくても公立で堂々とやっつけていけるようにして欲しい。」

「私立だと学校の方針が公立校よりかなりしっかりしているイメージがあり、それに異論がある場合でも従うしかない。公立の方が教師と親の距離が近いように見え、こちらの思いも伝えやすく、同じ目線で子どもの成長をみていてもらえる気がする。」

「色々な人がいるのが社会なので、特別な環境に子どもを入れたいとは思いません。私立をわざわざ選ばなくても良いように、安心して子どもをあずけられるよう公立学校側に努力を求めたいです。」



Q6 子どもたちの安全のために、学校にはどこまで対応して欲しいですか。



	合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
全体	1000	164	155	123	102	74	69	61	57	56	53	42	23	21
	100%	16%	16%	12%	10%	7%	7%	6%	6%	5%	5%	4%	2%	2%

学校にいても、子どもたちは安全とは言えない時代。外部からの侵入者、自然災害、伝染病など、さまざまな危機が潜んでいる。保護者たちは学校にどこまでの対応を求めているのか聞いた。これによると「登下校時の通学路・学校周辺の安全確保」16% (164名) が1位となり以下、「いじめ対策、不登校児などへのメンタルケア、カウンセリング」16% (155名)、「教員に対する児童心理、カウンセリング等の研修」12% (123名)、「緊急時の連絡・通報体制の整備」10% (102名)と続いた。これらは、特別な措置ではなく、現状でもほとんどの学校で既に実施されていることである。これ以外の対策については、全体的に要望が少なかったが、自由記入では多くの意見が寄せられていて、安全対策について関心が低いわけではないことがうかがえる。



池田小学校の事件の影響か、不審者対策についての記述が多数を占めたが、特に対策を立てている学校は少なく、保護者たちの不安なようすが伝わってくる。また、いじめについても「実態がわからない」「学校の取り組みがわからない」など漠然とした不安を抱えている保護者が多く見られた。

不審者対策についての自由記入

「何箇所からか自由に学校へ入ることができ、そこに警備員でも常駐させない限り、不審者が侵入しても現状では対処できないと思う。」

「小学校に外部者が侵入し殺人する事件があったにもかかわらず、学校の危機管理は甘い。比較的容易に外部者が入れるようになっているし、年配の女の先生ばかりの小学校では、防犯や安全管理は難しいと思う。」

「学校の中を歩いているのが、保護者なのか、業者なのかわからないのが現状です。門もいつも開いています。(閉まっても、いつでも開ける事ができます)朝も、各教室には、先生はいません。学校側に質問しても、朝は、忙しくて各クラスに先生を配置するのは、できないと言われました。安全管理にしても親からすれば疑問がいっぱいです。」

「近年、色々な恐ろしい事件を見るにつけては、学校は保護者であっても簡単に校内に立ち入れようであってはならないと思ってしまう。そして、先生方にも警察官並みの護身術が必要ではないかとも思わせられます。」

「教育が閉鎖的になってはいけないからといって、地域密着の名目で外部からの来校者に寛大すぎる気がする。」

「自治体が、地域に根ざした開かれた学校作りを考えているならば、学校を開放する代わりに、保護者でも誰でも、出入りする人をきちんとチェックできるだけの体制と人員を確保してほしい。」

「池田小学校の事件直後は、学校側もいろいろと気をつけていたが、日が経つごとに危機管理が薄れてしまったようだ。何か起こってからでは遅いので防犯カメラを設置するなどしたほうが良いと思う。」

登下校時の安全対策に関する自由記入

「朝の車がスピードを出して走っている横を歩いて行っています。また、帰りがけの不審者にも悩まされています。スクールバスをそろそろ考えても良いのでは?」

「登下校の際には職員も学校付近にたつて、不審者等の危険から子どもを守って欲しい。」

「不審者が出たりすると集団下校になるが、そのときだけなので、もう少し回数を増やしてもいいのではないかと思います。」

「登下校が心配です。保護者参加でも構わないので安全を確保してもらいたいと思います。」

「学校の登下校が一番の不安材料です。アメリカのようにスクールバスや親が送り迎えをするように徹底できたらと思います。」



いじめに関する自由記入

防災に関しても大切だとは思いますが、最近のニュースを見ていると、子どもを学校へ通わせる事も恐くなります。なので、学校内のイジメ暴力、また、外部からの危害も含め安全面を強化していただきたいです。」

自分の子どもが通っている学校がどの程度安全なのか公表されていないので不安がある。また、いじめや不登校に対しても 学校側の取り組みがどのようなものであるかわからない。」

いじめなどがあった時、学校側に尋ねてもあいまいな返事しか返ってこないで事実関係を明らかにして欲しい。」

うちは転勤族ですが、子どもは主人と一緒にどこまで行きたいとっています。転校先にいじめに遭わないかとそれだけが心配です。昔はそんな心配はなかった。やはり時代が悪いと思う いじめる子の親の教育もしっかりして欲しい。」

何かあった場合も(いじめを含む)学校内でうやむやにせず、小さなこともしっかり取り組んでほしい。教員自身への心身の健康の配慮もしてほしい。すべては子どもにかえってくると思うので。」

少年犯罪の増えている今、被害者としての立場のみにとらわれず、自分の学校から加害者を出さぬよう 犯罪の芽がめばえつつある生徒に対してのケア、指導を教師に徹底させてほしい。」

防犯対策も必要だし、いじめなどが起きたらすぐわかるような 仕組みが必要だとおもいます。教師と子どもたちと親との連絡帳とかも少しは効果があるかもしれません。」

その他の意見や提案

選択肢の項目は全て対応していて欲しいものです。保護者に情報を開示していて欲しいです。全ての公立学校で、ホームページがありいつでも保護者が見られるといいと思います。」

死角をなるべくなくす 努力をして欲しいです。以前は用務員さんがいらしたりして、校内を見て回る事が頻繁に出来ていましたが、今は先生自体も忙しくて特に放課後などは危険なので、監視カメラの設置も必要だと思います。」

物騒な世の中なので田舎であっても安心できないです。地域ぐるみで取り組む事も必要だと思います。」

天災に対する対策はどここの学校でも一定レベルに達していると思うしかし昨今学校をターゲットにした犯罪が増えているそういった危険から子どもを守ることを考えて欲しい。また、メンタルケアを必要とした児童への対応を教師一人ひとりが考えて欲しい。あくまでも マニュアル化ではなく状況に応じて対処し 接して欲しい。」

地域の事故や危険情報 (変質者、誘拐未遂、など)を全て情報開示して欲しい。」



ガイドラインやマニュアルをいくら整備しても実践には役立たないことが多いように思う。それより子どもに対してこういうときはどう対処すればいいのかという指導をこまめに行って欲しい。また、保護者にもこういうことを指導していますと通達があると面白いと思う。」

「CAP というプログラムがありますが、子どもの身に何かが起こったとき、子ども達自身がどのよう
に行動したら良いかという講習を子どもたち自身に向けて実施して欲しいと思います。」

何が起きるか分からない時代。子ども達に危ないと言うことを教えるのはもちろんだが、それに対する対処法をきちんと説明してくれないと、怖がるばかりで、留守番もできなくなってしまった。」

事件が多発していて、いつ自分の地域で何が起きてもおかしくないのに、危機管理意識が高いとはいえない。大事な子どもを預かっているという基本に立ち返ってほしい。」

学校はできる範囲の管理は徹底して頂きたいが全て学校任せにするのではなく家庭でも親がしっかりと指導するべきだと思います。」

子どもへの防犯意識を高めていきたいです。最終的には自分の身は自分で守らなくては。」

学校が安全であるのは当然だが、子どもが萎縮するほどの警戒態勢や四六時中大人の目が光
っている校庭というのは息が詰まりかわいそうだと思う。」

「開かれた学校」と安全管理の両立は非常に難しいと思う。どの点で折り合いと付けるのかこどもの安全を確保するのか、情報管理を含めたパソコンのセキュリティもまだまだ議論事態が不十分。」

最近、恐ろしい事件が多く、どこまでやって下さっても安心しきれない感じがします。しかも、事件が報道されるたび、ずさんな安全管理体制だったことにあきれさせられます。」